

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024 年 2 月 25 日

事業所名 WONDER (回答率 8/9)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	78%	22%	その都度調整させていただいております。	スタッフ配置を利用児童数、送迎スケジュールなどからさらに効率化できるように努めます。
	2	職員の配置数は適切である	56%	34%	利用児童の人数によって調整しております。	体調面で欠勤などもあるので、スタッフの体調管理もしっかりしていきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリーの配慮が適切になされている	100%	0%	視覚的な情報を入りやすくしております。	段差などはございますが、声掛け、スタッフが体を支えるなどの配慮を行っております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	細かく会議などを行って意思疎通しております。	様々な会議などを通してスタッフ全員が同じ認識をもって動けるように努めております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	できるだけ保護者様方の意見を取り入れ、業務改善に取り組んでおります。	些細な事でも可能な限り意見を取り入れて改善できるようにスタッフ間で意見交換をしております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	ホームページにて公開しています。	毎年ホームページで公開しておりますので、スタッフにも内容を共有し、今後に生かしたい。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%		いつ行われても問題ないように努めております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	社内研修や外部の研修に取り組んでおります。	社内研修以外にもスタッフが興味がある外部研修に積極的に参加しております。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	アセスメントを行い、個別支援計画を作成しております。	保護者様方と関わる機会を増やし、より良い支援を提供できるようにしていきたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		より良い支援の為に、今後アセスメントツールも工夫していきたいです。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	支援検討会議を行っております。	モニタリング、アセスメント、担当者会議などの情報からスタッフで支援検討会議を行ってプログラムの決定をしております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	療育内容を記録し、進捗を確認しております。	療育の記録を確認し、プログラムが固定化しないように努めております。

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	日にちで活動内容を変えております。	平日は療育中心で、休日はイベント等の体験活動を中心に行っております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	児童一人一人の求める内容によって作成させていただいております。	児童の様子やご家庭の要望も考慮して必要に応じて変更いたします。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	始業時にスタッフの役割分担、支援内容を決定しております。	より良い支援の為に、スタッフを特定の児童だけの担当にせず、色々な児童の対応を任せております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	療育の記録を都度しております。	療育の記録を確認し、支援の振り返り、今後の注意点などを共有しております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	毎回記録しております。	療育の記録と共有を行っております。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	半年に1回行っております。	必要に応じて行います。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%		ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児童にあわせて担当スタッフを変更して参加しております。	今後も必要に応じて担当するスタッフは選んでいきたいと思っております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	随時確認しております。	連絡遅れ、連絡漏れなども少し見受けられるので、保護者や学校と事業所、スタッフ間の連携を確実にしていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	50%	50%		現状該当児童がいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%		現状該当児童がいません。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%		現状該当児童がいません。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	56%	34%		現状ありませんが、外部で研修などには参加したいと考えております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	67%	33%		利用児童の特性などから、現状機会はありません。今後できそうなタイミングがあれば行いたいです。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%		参加可能な場合は積極的に参加しております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	67%	33%	送迎時やご利用後にlineでお伝えしております。	今後さらに保護者様方と共有する機会を増やしていきたいです。

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%		ご要望があった保護者様には対応しております。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		ご契約時に必ず行っております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	78%	22%	ご相談を受けた際に対応させていただいております。	今後相談などをもっと気軽にできるようにしていきたいです。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%		保護者会の機会があまりなかったため、今後は定期的に開催したいです。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	何かあれば都度対応させていただいております。	迅速な対応を心がけて都度対応しております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月配布させていただいております。	イベント案内、行事予定表は発行、配布しております。さらに皆様に伝わりやすい内容にしたいと思います。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%		十分注意しております。日々確認を徹底していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	67%	33%	児童の特性により配慮している。	児童の特性にあわせてコミュニケーションの取り方は工夫しておりますが、より良い方法がないか常に模索しております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%		現状できていないので、状況を見て実施していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	定期的に行っております。	年二回ほど訓練を行っております。保護者様方へも周知できるようにしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	定期的に行っております。	年二回ほど訓練を行っております。保護者様方へも周知できるようにしていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	定期的に行っております。	虐待防止委員会の元、研修を定期的に行っております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	契約時にご説明させていただいております。	ご契約時に詳しい説明の元、同意書をいただいております。

42	食物アレルギーのある子どもについて、 医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	ご契約時にご家族様と対応を決めております。	現状アレルギーのある児童に対しては除去食を行っております。 医師の指示書が必要な児童は現在通所していませんが、少しのアレルギー反応を起こす可能性のある児童はご家族様と対応方法を決定させていただいております。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	その都度作成しております。	その都度ヒヤリハットを作成しております。スタッフ間で共有しやすいようにまとめて保管しております。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。